

競技上の注意（個人戦）

1. 競技規則 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。
群馬県中体連ソフトテニス部出場規定による。
2. 競技方法 トーナメント方式
進行状況により、コート変更の場合があるので、放送に注意。
ゲームは7ゲームマッチ
3. 警告対象 ・競技規則第15条（1）審判規則第20条の違反（挑発行為など）
 - ・競技規則第15条（2）の違反（遅延行為など）
 - ・競技規則第40条の違反（異議の申し立てなど）
 - ・その他、従来通りの「警告」も対象となる。
 - ・1回目は注意を与え、2回目から警告を与える。
4. 使用球 総体：ケンコー 新人男子：ケンコー 新人女子：アカエム
5. 審判 敗者審判とする。ただし、第1試合については指名審判とする。
6. ベンチ 若番チームは本部側のベンチで、自分の試合の採点票を本部から受け取ってからベンチに入る。必ず自分の前の試合のボール拾いを行う。
監督・コーチはコートへの入場時に、他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチの途中からベンチ入りを認める。監督・コーチのベンチ入りは1マッチ1回のみとし、試合途中でベンチから出た場合、再びベンチに入することは認めない。
監督・コーチは指定されたベンチに着席（雨の日は立ってもよい）し、マッチ中の監督交代は認めない。傘等の使用については、本部で指示をする。監督、選手の椅子の持ち込みについては禁止する。
選手は監督・コーチの助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
7. 試合後 勝ちチームはジャッジペーパーを本部に届け、負けチームは審判があるので、コートに残る。相手ベンチまで行ってのあいさつはなしとする。
8. 応援 インプレー中はしない。相手を威嚇したり、けなす応援はしない。
応援する場所は当該チームのベンチの後ろとする。
会場の都合で、壁応援については、開始式で連絡をします。
応援幕は、委員長に許可を得た上で競技に支障のない場所にはる。
9. 練習 大会本部で指定された場所以外では絶対にしない。
10. 会場使用 トイレは来たときよりも美しく使うこと。ゴミはすべて持ち帰ること。
11. その他 服装等について、本大会に出場する監督・選手・応援は出場規定を必ず守る。
特に、監督・コーチは胸ゼッケンを付け、見えるようにしておく。

＊ヒートルールについて…熱中症対策としてヒートルールを適用する場合がある。

ヒートルールとは、ファイナルゲームに入る前に3分間の休息を許可する。但し、休息場所はマッチを行っているテニスコート内において、日傘等により作られた日陰とする。

競技上の注意（団体戦）

1. 競技規則 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。
群馬県中体連ソフトテニス部出場規定による。
2. 競技方法 トーナメント方式 団体は2点先取（コート初出場は3組まで）
進行状況により、複数コートで試合を行う場合があるので、放送に注意。
ゲームは7ゲームマッチ
3. 警告対象 ・競技規則第15条（1）審判規則第20条の違反（挑発行為など）
・競技規則第15条（2）の違反（遅延行為など）
・競技規則第40条の違反（異議の申し立てなど）
・その他、従来通りの「警告」も対象となる。
・1回目は注意を与え、2回目から警告を与える。
4. 使用球 総体：アカエム 新人：ダンロップ
5. 審判 敗者審判とする。ただし、第1試合については指名審判とする。
登録選手が審判をして下さい。
6. オーダー オーダー票の提出は、第1試合は、受付後すぐに。第2試合以降は、対戦相手が決まり次第直ちに（約5分以内）。いずれも本部へ提出のこと。
7. ベンチ 若番チームは本部側のベンチで、自分の試合のジャッジペーパーを本部から受け取り、コートにいる審判に渡してからベンチに入る。
監督・コーチは指定されたベンチに着席（雨の日は立ってもよい）し、マッチ中の監督交代は認めない。傘等の使用については、本部で指示をする。監督、選手の椅子の持ち込みについては禁止する。
8. 試合後 勝ちチームはジャッジペーパーを本部に届け、負けチームは審判があるので、コートに残る。相手ベンチへ行ってのあいさつはなしとする。
9. 応援 インプレー中はしない。相手を威嚇したり、けなす応援はしない。
応援する場所は当該チームのベンチの後ろとする。
会場の都合で、壁応援については、開始式で連絡をします。
応援幕は、委員長に許可を得た上で競技に支障のない場所にはる。
10. 練習 大会本部で指定されたところ以外では絶対にしない。
11. 会場使用 トイレは来たときよりも美しく使うこと。ゴミはすべて持ち帰ること。
12. その他 服装等について、本大会に出場する監督・選手・応援は出場規定を必ず守る。
特に、監督・コーチは胸ゼッケンを付け、見えるようにしておく。

*ヒートルールについて…熱中症対策としてヒートルールを適用する場合がある。

ヒートルールとは、ファイナルゲームに入る前に3分間の休息を許可する。但し、休息場所はマッチを行っているテニスコート内において、日傘等により作られた日陰とする。